

金曜 ライフ・楽しむ

シニア世代を応援するページです

わたし色

生活情報誌「悠悠と。」

編集長・真鍋康利さん



避難要請 メダカやってきた

我が家と事務所に新しい仲間が増えました。メダカがやってきたのです。これも先日地震の影響です。

知人はとても大きな水槽で金魚とメダカを飼っていました。札幌でも地震の揺れが大きかったところでしたが、幸い転倒は免れました。しかしこの後また余震があるかも知れず、この大きさの水槽はいかにも危なっかしいと、小分けして何人かにもらうてもらったことになりました。いわゆる避難要請を受け入れたもので、その一団です。

長い間、ペットというものを飼ったことがなかったので、メダカとはいえ、「水をどうするか」「えさはどうするか」「病気がないの?」などワイワイ言いながら、我が家では家族が、事務所では私が面倒をえています。事務所は通常私一人しかいないので、メダカに話しかけるのが唯一の会話という日もあり、癒やされています。

それに加え、もう一つこんなことがあります。しばらくくぶりの友人・知人から連絡をもらったのです。電話やSNSなどタイミングを見てのお見舞いです。私が北海道に住んでいることを覚えてくれていたことがわかり、あまり

大きな被害がなかったのに、ありがたいことです。

少し落ち着いたころ、長く音沙汰のなかった友人から、重い荷物が届きました。開けると、「望みは捨てるな、救助は必ずやって来る!地震お見舞い申し上げます」と大書した手紙と、お米が入っていました。早速電話すると、「水がいいか、ロウソクがいかが悩んだが、お米さえあれば何とかなるだろうと思っただ。京都のお米はおいしいよ」とのこと。大変うれしかったですね。別の方から梅干しも届いたので、しばらくは大丈夫、と安心しました。のど元過ぎないうちに、防災用品を手に入れるため家

電量販店やホームセンターをのぞいてみましたが、狙っていた商品は皆さん同じように考えるのでしよう、品薄状態が続いているようです。日本中が、いや世界各地でも揺れています。いざというときに慌てないで済むよう、いろいろな準備をしておきたいものです。

最近、神経質すぎるのか揺れを感じることもあり、「今揺れたよね」「揺れた、揺れた」「いや揺れていない」、そんな会話がが続いています。ネットでは地震情報を調べてみたら、地震のときもあるし、そうでないときもあります。台風による強風で建物が揺れているだけのこともあります。しかし、自分自身が小刻みに揺れていることもあります。これは年のせいでしょうか。